

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成25年11月1日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
学校園の活性化と確かな学力の育成
総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、
信頼に応える学校園経営、学校園・家庭・地域の協働

11月は児童虐待防止推進月間です 「さしのべた その手がこどもの 命綱」

全国の児童相談所の平成24年度児童虐待相談対応ケース数は66,807件で、前年度と比べ約6,900件増と大幅に増加し、児童虐待問題は社会全体で解決すべき重要な課題となっています。虐待は、子どもの心身に深刻な影響をもたらすことがわかっており、虐待の発生予防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要です。

こうした状況の中で、学校園は日常的に子どもと接する機会が多く、子どもの変化に気づきやすい立場にあることから、健康状態や出席状況、服装などをモニタリングすることによって、虐待を早期に発見することができる重要な役割を担っています。そして、次代を担う子どもたちが安心して、健やかに成長できる社会を構築するために関係機関等と連携した積極的な取組みが求められています。

児童虐待の根を絶ち、「すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される」と児童憲章に謳われているように、すべての子どもを虐待から守る必要があります。



虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや
ご自身が出産や子育てに悩んだときには、
児童相談所や市町村の窓口にご連絡ください。
虐待と思ったらすぐお電話を
児童相談所全国共通ダイヤル **0570 - 064 - 000**

- ～通告は支援のはじまり～
- ▶ 大阪府東大阪子ども家庭センター 06 - 6721 - 1966
(休日・夜間) 072 - 295 - 8737
 - ▶ 東福祉事務所 (東家庭児童相談室) 072 - 988 - 6619
 - ▶ 中福祉事務所 (中家庭児童相談室) 072 - 960 - 9274
 - ▶ 西福祉事務所 (西家庭児童相談室) 06 - 6784 - 7982

子育て講演会が開催されます



11月の児童虐待防止推進月間にあわせて、子育て講演会が開催されます。
(東大阪市要保護児童対策地域協議会・子どもの相談機関連絡会共催)
日時：11月27日(水)午後2時より
会場：東大阪市立男女参画センター イコーラムホール
講師：日本共育プロジェクト代表理事の今村克彦さん
テーマ：「共育～共に育つということ～」
(申し込み・問い合わせ：東大阪市子どもすこやか部子ども家庭室
子ども見守り課 電話 06 - 4309 - 3197 FAX06 - 4309 - 3817)

11月は児童虐待防止推進月間です ～通告は支援のはじまり～

子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり！

「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査」の結果分析を、10月24日、東大阪市のHP上で公開しました。本市の学校・児童生徒を対象とした質問紙調査では、以下のような傾向が見られました。

《小学校》

- ・児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を積極的に行う学校が増加している。
(学校質問紙より)
- ・「友だちとの間で話し合う活動をよく行っている」と答える児童の割合が増加している。
(児童質問紙より)



国語の授業で、パネル討論。討論では、各自の役割を意識しながら、積極的に意見を発表し合っています！



社会の時間。「工場見学」で質問する内容を6人グループで話し合っています！

《中学校》

- ・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進める学校が増加している。
(学校質問紙より)
- ・「普段の授業で本やインターネットを使って、グループで調べる活動を行っていると思う」と答える生徒の割合が増加している。
(生徒質問紙より)



英語の授業。旅行のパンフレットを使って、行きたい国の紹介等を、4人グループで話し合い、英文を作っています！

このように各学校では、グループ学習、討論形式など、様々な学習スタイルも取り入れ、ひとり一人の子どもが主体的に学ぶための『授業づくり』が進んでいます。なお、「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査結果分析」の詳細は、HPに掲載しております。
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000011826.html>

東大阪立総合病院にある院内学級 こまどり学級・わかさ学級

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002374.html>

入院のため

友人との交流や学習の場を断たれることが
心配なときに・・・
学校生活から離れるとき・・・

東大阪立総合病院には、入院して通学できない児童・生徒を対象に、主治医の承認のもとに学習を進めている『院内学級』（小学校：こまどり学級 中学校：わかさ学級）があります。

院内学級での教科書や教材は、学校で使用していたものを使って学習するので、退院後の学習へスムーズにつなぐことができます。入級中は意岐部小学校・意岐部中学校の在籍となります。

<連絡先>

学校名	東大阪立意岐部小学校	東大阪立意岐部中学校
学級名	こまどり学級	わかさ学級
T E L	(06)6781-2900	(06)6788-1875



入院中の児童・生徒に大切にしてほしいこと・・・

- ・病気や怪我を治療し、健康回復に取り組む。
- ・入院生活に耐え抜く精神力をもつ。
- ・自らの可能性を伸ばす。



『院内学級』では、病院側の協力と深い理解を支えに
楽しい雰囲気の中で、気持ちの安定を
一人ひとりの子どもたちの病気の状態を考えた学習を
病気に負けない強い子ども
をめざしています。